

# 新潟県栄養士会 機関誌「栄養新潟」2025年57号 アンケート集計結果

回答期間:2025年9月19日~12月31日

アンケート回答方法:Googleフォームを活用、無記名式で回答

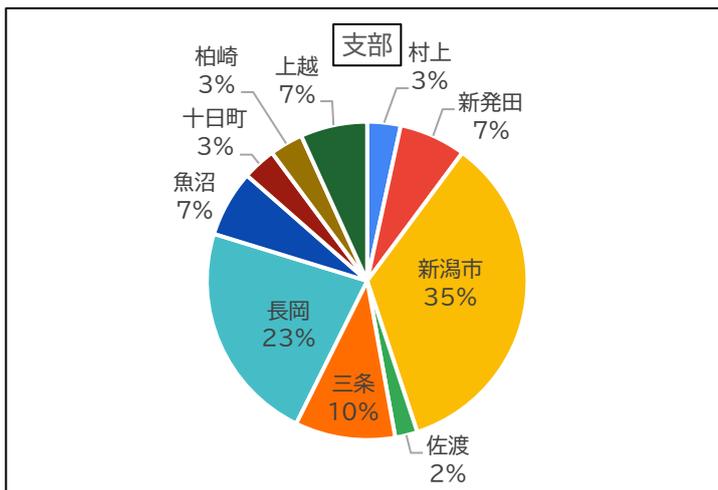
アンケート周知方法:新潟県栄養士会ホームページおしらせ欄に掲載するとともに、

9月19日県栄理事にメール連絡、10月17日県栄会員のうちメール連絡可能者に一斉メール送信

回答人数:89件

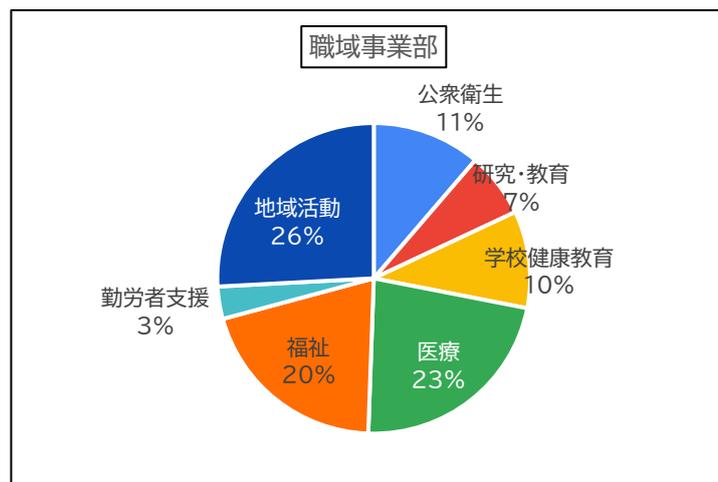
## 1.支部

	(件)	(%)
村上	3	3
新発田	6	7
新潟市	31	35
佐渡	2	2
三条	9	10
長岡	20	23
魚沼	6	7
十日町	3	3
柏崎	3	3
上越	6	7
合計	89	100



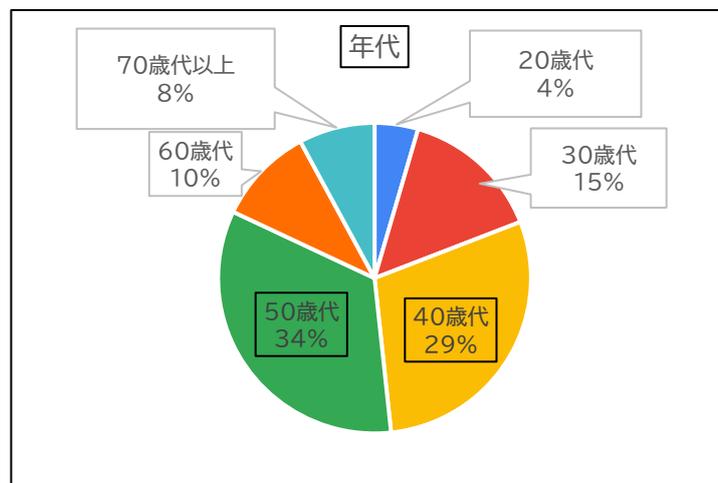
## 2.職域事業部

	(件)	(%)
公衆衛生	10	11
研究・教育	6	7
学校健康教育	9	10
医療	20	23
福祉	18	20
勤労者支援	3	3
地域活動	23	26
合計	89	100



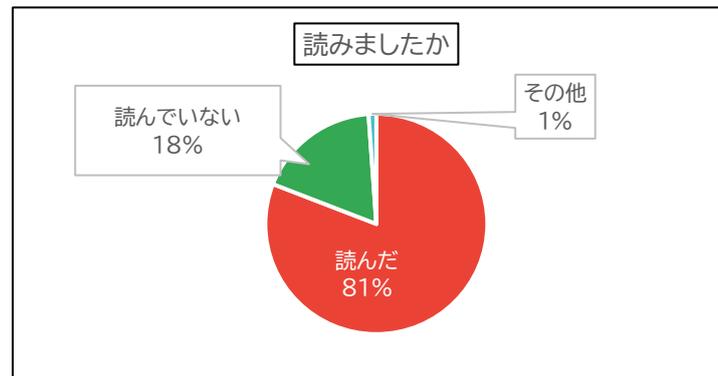
## 3.年代

	(件)	(%)
20歳代	4	4
30歳代	13	15
40歳代	26	29
50歳代	30	34
60歳代	9	10
70歳代以上	7	8
合計	89	100



## 4.2025年57号『栄養新潟』を読みましたか？

	(件)	(%)
読んだ	72	81
読んでいない	16	18
その他	1	1
合計	89	100

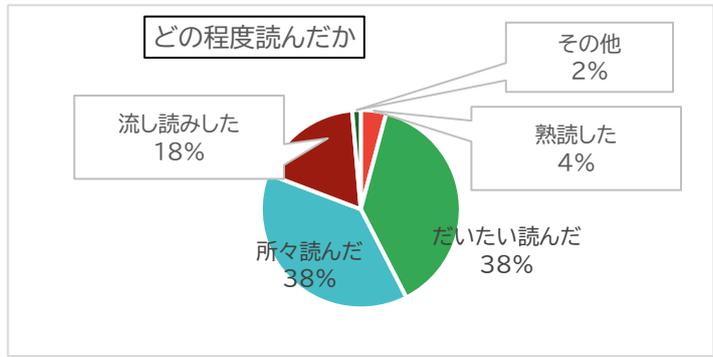


その他の回答: 忘れた1

### 5.どの程度読んだか(4.で読んだ、その他を選択した73件の回答)

	(件)	(%)
熟読した	3	4
だいたい読んだ	28	38
所々読んだ	28	38
流し読みした	13	18
その他	1	2
合計	73	100

その他の回答: 忘れた1

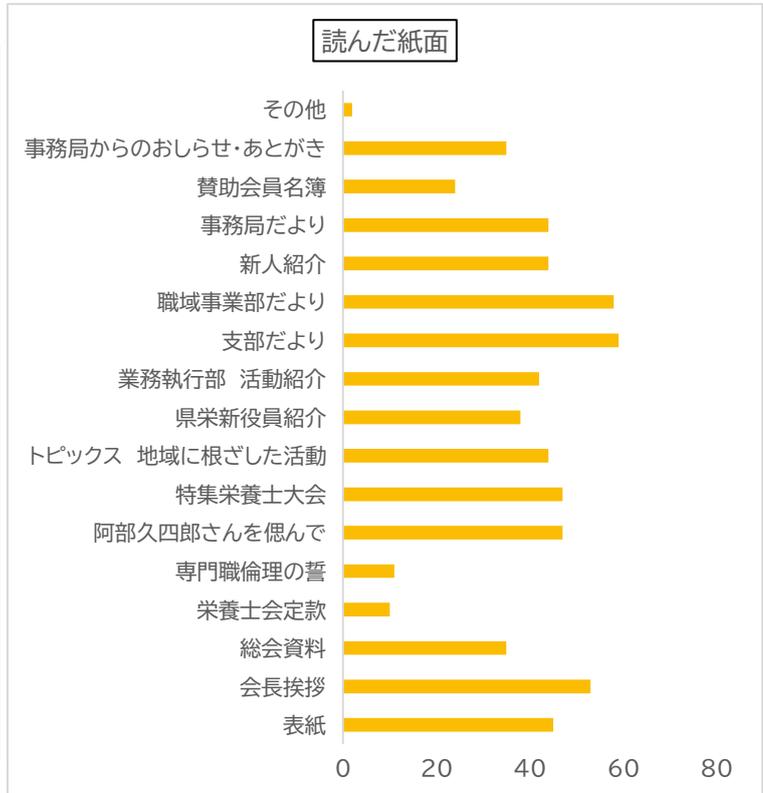


### 6.2025年57号の掲載内容で1度でも読んだり見たりした紙面を選択※複数回答可

(4.で読んだ、その他を選択した方だけの回答)

	(件)
表紙	45
会長挨拶	53
総会資料	35
栄養士会定款	10
専門職倫理の誓	11
阿部久四郎さんを偲んで	47
特集栄養士大会	47
トピックス 地域に根ざした活動	44
県栄新役員紹介	38
業務執行部 活動紹介	42
支部だより	59
職域事業部だより	58
新人紹介	44
事務局だより	44
賛助会員名簿	24
事務局からのお知らせ・あとがき	35
その他	2
合計	638

その他の回答: 忘れた1、未記入1

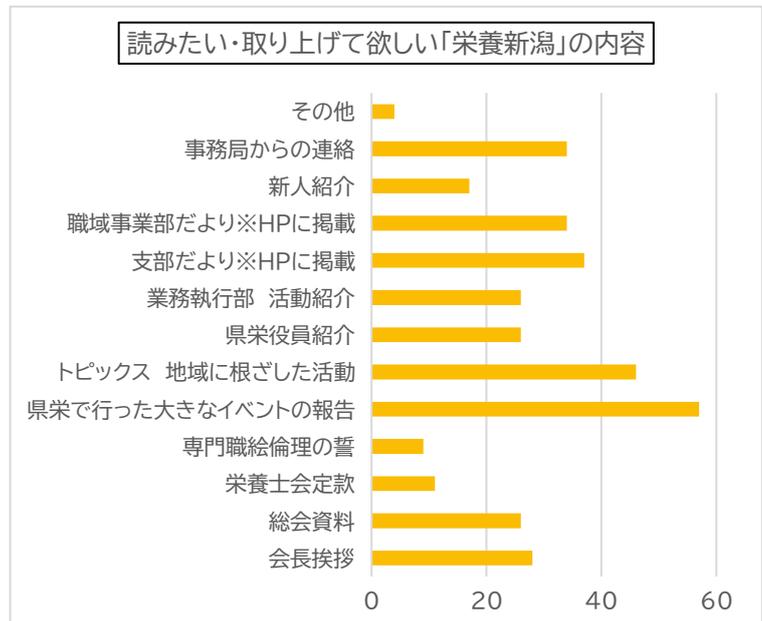


### 7.今後の「栄養新潟」で読みたい・取り上げて欲しい内容・情報※複数回答可

(4.で読んだ、その他を選択した方だけの回答)

	(件)
会長挨拶	28
総会資料	26
栄養士会定款	11
専門職倫理の誓	9
県栄で行った大きなイベントの報告	57
トピックス 地域に根ざした活動	46
県栄役員紹介	26
業務執行部 活動紹介	26
支部だより※HPに掲載	37
職域事業部だより※HPに掲載	34
新人紹介	17
事務局からの連絡	34
その他	4
合計	355

その他の回答: 次ページに掲載



その他の回答

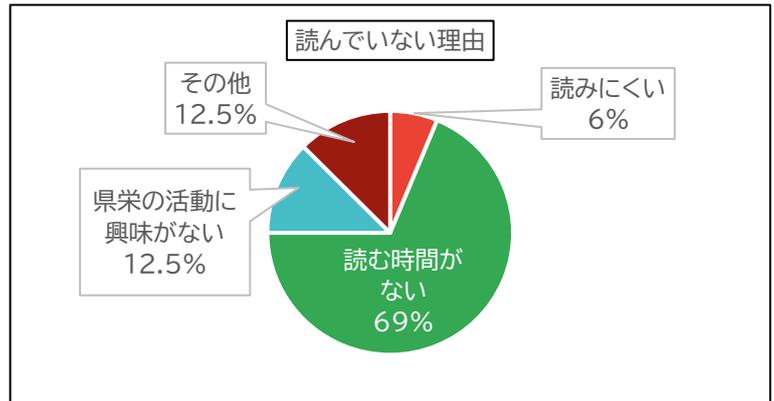
- ・各地域の課題や共有して良い問題等(雑誌にせずにネット上掲載し経費を浮かせては?)
- ・連携が最近のトピックとなっている。他職種の想いや他職種とのやり取り等を掲載してはどうか。
- ・年間支部・職域イベント・研修スケジュール、次回栄養士研修会案内やJDA育成・教育研修案内のポスター等
- ・(郵送物が)所属に来るが、そこに総会内容が記載されるのはおかしい。総会資料は会員への情報だと思う。

8.「栄養新潟」を読んでいない理由 ※複数回答(4.で読んでいないと回答の16件の方のみ回答)

	(件)	(%)
読みにくい	1	6
読む時間がない	11	69
県栄の活動に興味がない	2	12.5
その他	2	12.5
合計	16	100

その他の回答

- ・年会費を払っていないので届いていない 1
- ・後で読もうと思った 1

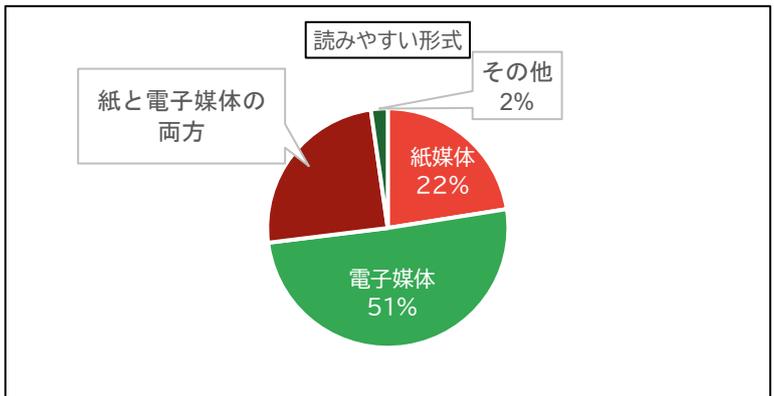


9.読みやすい機関紙の形式を1つ選択してください。

	(件)	(%)
紙媒体	20	22
電子媒体 (必要な方は各自印刷)	45	51
紙と電子媒体の両方	22	25
その他	2	2
合計	89	100

その他の回答:

- ・基本デジタル媒体 記録に残す意味で製本したものがあるとよい 1
- ・予算削減のためなら会員は電子媒体、他機関への配布は紙媒体 1



10.「栄養新潟」に関する意見や要望

【7.について】

- ・活躍している人材紹介等

【問9について】

- ・収支報告書はよくわからないので見ていない。機関紙の一部をデジタルにする等やり方を変えても良いのでは。
- ・電子化で良い。
- ・紙媒体を減らして印刷費と郵送費を削減して欲しい。メールやインスタなどで発行について周知、読みたい人はデジタルで読む形でもよいと思う。
- ・紙媒体を減らしてコスト削減し、会費削減に繋げて欲しい。
- ・会員用はデジタル、行政や関係機関へは紙媒体で送付
- ・会費が少ない中冊子作成は贅沢、電子媒体で十分。
- ・紙媒体を廃止して電子媒体に移行することで会費が安くなるのであれば、大変良いこと
- ・会員数減少で会費収入も減少している。読みにくいという意見が出ることは承知で、電子媒体による機関誌の発行についても今後検討していく必要がある。すぐにではなく、数年後などでも。
- ・工夫しても読まない人は読まない。経費削減を目指した調査をしているのであれば電子による発信で良い。
- ・電子媒体が当たり前で時代ですが、手元に残らないため、恐らく見ない読まない方が更に増える懸念があるため、私は紙媒体(現在の形式)を望む。
- ・新聞と同様、紙で届くから読む記事がある。ただ、郵送料で予算が圧迫されるのであれば、HPのみになる事も致し方ないと思う。
- ・個人への配布はデジタル中心(紙媒体希望の方には配布は必要)、紙媒体は施設単位で配布し栄養士会の

アピールに使えないものでしょうか。他の職能団体はどのように動いているか。

- ・栄養士の会費が高く、加入をやめたいという声を聞き実際に自身もそう感じる。冊子はデータ化し、発行費用や配送費用を減らすことで会費を見直すことが出来ないか。(冊子でなければ閲覧できないという方がいるとしても、ネット社会の時代ですので…。)
- ・栄養士会がどのような活動をしているかを知ることは大切なこと。しかし全会員がこの機関紙を読んでいるのか疑問。昨今の郵便料金の値上げや諸事情を考えると、紙媒体で経費をかけずとも、HPを活用し経費の節減、労力の削減を図った方が良いのではないか。情報を得たい会員は、紙媒体でなくともHPを利用するのではないか。
- ・紙媒体の方が見る機会はある。経費を考慮すると電子媒体に移行がよいが、見る仕掛けを作らないと見る人が限られるため、見て感想送ったらインセンティブで研修参加費が値引きされる等仕掛けが必要か(事務の手間は今は考えず、例えばですが…)。両方の媒体は読み手は選択しやすいが事務の手間。
- ・どの位の方々がこの機関誌を必要として読んでいるか疑問。編集に業務+α業務で負担に感じている方もいるのでは。様々な活動・職域を超えた管理栄養士の取り組みを知ること大切、安価で素晴らしい先生方の勉強会を受講できたり、会員同士のつながり等仕事に役立つことは沢山あるが、栄養士会の問題は会員数が少ないこと。電子媒体等にして経費削減し、会費を少しでも安くして会員を増やすよう努めることも大切。

#### 【変更案】

- ・「賛助会員紹介」の部分 各社の名刺とし、各社の個性を出したら目をひくのでは。
- ・「総会資料」の部分 目次を、日栄の全国栄養士大会のプログラムのよう目次ごとにイメージ写真とQRコードを掲載し、ホームページにリンクさせる。
- ・見やすく変更(文字数減、字体変更、サイズ小さく行間広げる等)字がびっしりなので字体を変えるか、サイズを下げ行間を広げる。
- ・フォントやデザインを変更して、読みたい、と思えるデザイン性の高いものに変更。
- ・文章の行間が狭く、読みにくい箇所がある。詰め込みすぎな感じもある。
- ・年1回発行だとそこに大きな労力が必要になる。ショートバージョンで年4回くらいの発行でも良いのでは。
- ・財源確保のため、回数を減らす
- ・HPのように機関誌ももっと写真が多くなると見ごたえがあるように思う。(内容が重複する場合もあるのかもしれないが、大きく取り上げるものは写真付きの紹介がよい。)

#### 【広報について】

- ・現在の県栄ホームページの活用を進め 栄養新潟はHPに乗らないかつ有用な情報を掲載するとよい。
- ・今後、「栄養新潟」はホームページ掲載を主として、年1回に限らず様々な情報が掲載され、それが県栄の記録にもなっていくようなものになったら良い。
- ・年分をまとめて報告ではなく、定期か不定期に、活動報告については長文であればホームページ、短文であればインスタに。また年始あるいは年度始めに会長や副会長挨拶はホームページにアップして、それを定期か不定期にメールでホームページやインスタに誘導連絡をする等、電子媒体のみにして、紙媒体は廃止してもよい。

#### 【「総会資料」と「機関誌」の合併について】

- ・総会資料と一緒にするのはあまりよろしくない。
- ・合体には無理があり、中途半端なものになってしまうが、経費などの事からはやむを得ない事かとも思う。

#### 【その他意見】

- ・これを読めば「新潟県栄養士の活動」が見えてくるような内容・構成を期待する。
- ・ここで新しい風を吹き込むのはとても良いこと。
- ・機関誌の意味がよくわからない。
- ・作成作業が担当者の負担にならず、全会員に情報共有でき、かつ経費負担の少ない方法が見つかるとうい。
- ・昨年の機関誌は、今までと内容の雰囲気少し違い新鮮。

#### ※10.「栄養新潟」に関する意見や要望(まとめ)

##### ●主な課題

- (1)文字量が多く、行間・字体・構成の面で読みづらい
- (2)機関誌の目的・位置づけが分かりにくい
- (3)紙媒体による印刷費・郵送費、作業負担が大きい
- (4)総会資料との一体化の妥当性

## ●改善案

- ・文字数削減、フォント変更、行間拡大などによる誌面改善
- ・写真や図、QRコードを活用しHPやSNSへ誘導
- ・賛助会員紹介は各社の個性が伝わる構成に
- ・活躍する会員・人材紹介など関心を引く企画の充実
- ・会員向けはデジタル中心、行政・関係機関や希望者には紙媒体とする使い分け

## ●今後の方向性案

- ・経費と労力を抑えつつ、会員にとって価値のある情報発信を目指す。
- ・県栄の広報方法として、機関誌・ホームページ・SNSの役割分担も必要か。

## 11.県栄の広報活動についての意見

- ・私自身ホームページをこまめに見ることが出来ておらず、一方でLINEは届くと開いて確認している。自発的でなく人任せですが、ホームページにアップしましたメールが届けられるとタップする機会になるのでは。
- ・よい情報なのに、意識してみないとわからないので、もったいない。
- ・会員登録情報が重要であることの会員への周知が必要。
- ・ホームページの中にチャットルームのようなものを作ってほしい。
- ・広報の費用対効果を検証した上で、効果的な広報手段を実施して欲しい。
- ・Instagramは支部活動・職域活動の報告や会員の業績などについてもこまめにUPした方が良い。日栄雑誌の新刊の目次を毎月紹介するのも栄養士以外の方々に栄養士が何を学んでいるのかをPRするには良い。
- ・他団体や企業などは栄養士会の広報力を見ているので、賛助会員を増やしたり、助成金を獲得するためにもSNSの発信は必要。
- ・栄養士会の活動を通してですが、世代交代したほうがよいと感じている。それが進まないで若い方の入会がないのだと思う。
- ・支部活動や職域活動などHPにアップした状況について、月1回でも良いのでHPのお知らせ欄で教えていただきたい。

## 12.その他

- ・管理栄養士は国家資格であり、各職場でスキルを発揮する必要がある。また、女性が多くを占める団体の特徴がある。一方、自治体等のイベントに土日従事するような活動をして、負担感から退会する事象が起きている。本来のスキルアップの情報が得られる場である会から脱退し、何が専門職といえよう。旧体制からの活動を整理し、会としてどうあるべきか軌道修正する必要がある。

以上

アンケート実施・集計担当:新潟県栄養士会 広報・情報部 部長 山川琴栄

2026年2月27日

|